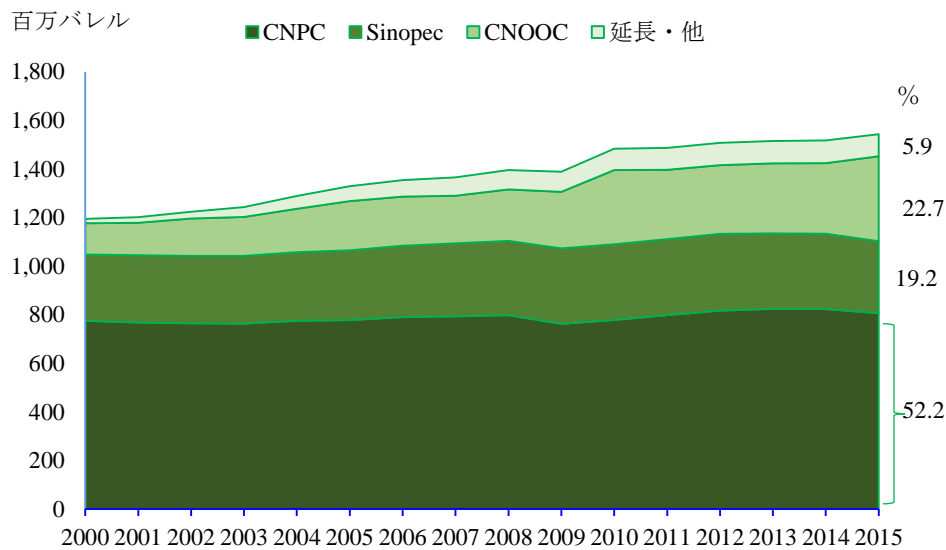


中国の石油産業と第13次5ヵ年計画

【2015年の国内原油生産動向】

中国国家统计局の「2015年国民経済と社会発展公報」によると、2015年の国産原油生産量は2億1,474万トン（429.5万B/D）であり、2014年の2億1,143万トン（422.9万B/D）より6.6万B/D増加した。また、第12次5ヵ年計画期（2011～2015年）における原油生産の年平均増加率は1.2%である。BP統計によると、2014年の世界の原油生産において中国は第5位、世界の原油生産の4.8%を占めた。



(出所) 各社の年報及び統計出版社「中国統計年鑑」

図1. 中国の石油会社別原油生産量の推移

国際原油価格の暴落を受けて、2015年には中国石油天然ガス集団公司（CNPC）傘下の中国最大の油田である大慶油田の原油生産は3,839万トン（76.8B/D）に止まり、2014年の4,000万トン（80万B/D）に比べ減少した。また、中国石化集団公司（Sinopec）の傘下にある中国第2の勝利油田でも大慶と同様に、原油生産は2014年の2,787万トン（55.7万B/D）から2015年には2,710万トン（54.2万B/D）に下がった。他方、中国海洋石油総公司（CNOOC）の2015年の国内原油生産は2014年の3,964万トン（79.3万B/D）より16.2万B/D増えて4,773万トン（95.5万B/D）に達し、Sinopecの生産量を上回って中国第2位の原油生産企業になった。

【2016年の原油生産計画】

中国最大の国有石油企業であるCNPCが発表した生産計画によると、同社の2016年の原油生産は2015年より2.9%減少し、また、今後5年間、大慶油田は年平均150万トン（3万B/D）の減産を進めることになる。Sinopecは減産目標を公表していないが、勝利油田の中の4油田の閉山計画を発表した。また、CNOOCは2016年の原油生産計画によると、2015年より2.0%～5.1%の減産を進める。さらに、中国の地方石油会社である陝西延長石油集団公司も2016年2月、今年の原油

生産量を2015年より1.2%削減すると発表した。各社はいずれも今年減産を進める理由として生産コストが原油価格を上回っていることを挙げている¹。また、中国の資料によると、中国の大部分の油田は老朽化が進み、生産コストは40ドル/バレル前後に上る。2016年の原油価格が40ドル/バレル以下であれば、減産するしかない²。

【海外原油生産動向】

2015年の各社の年報によると、CNPCの海外原油生産は165.6百万バレルに上り、2014年の122.3百万バレルと比べ35.4%増加した。Sinopecの海外原油生産は53.2百万バレル、2014年の49.9百万バレルより6.7%増になり、CNOOCの海外原油生産は234.3百万バレル、2014年の212.9百万バレルと比べ10.1%増加した。

CNPCの年報によると、主に原油価格下落のため、同社の経営利益(税引き後)は2014年の1,190.3億元(1兆9,377億円)から2015年には420.9億元(6,852億円)に下がり、2年連続の減益になった。また、原油価格下落の影響で、石油企業各社はコストを削減するため、2015年の海外買収額を大幅に減らした。

もっとも、2015年1月には中緬原油パイプラインの起点であるマデイラ島で30万トン(220万バレル)のタンカーから中東原油が石油タンクに注入された。また、Sinopecはロシアの2つの油田の49%の株式を買収した。中国石油企業協会の副会長は、中国の石油企業の海外進出は政治リスクと開発難度が高いが、依然として重要な戦略的選択肢であると指摘している³。

【第13次5ヵ年計画期の石油産業政策】

「国民経済と社会発展第13次5ヵ年計画(2016~2020)綱要」は石油産業に関して主に以下のような政策指針を掲げている。

- ・石油産業の開放と競争メカニズムの導入
- ・陸上と海上の油ガス田の探査と開発
- ・鉱産開発権益の逐次開放
- ・タイト原油、オイルサンド、深海油田の探査と開発
- ・陸上石油輸入戦略ルートの建設
- ・地域間の石油パイプラインの連系と安全管理
- ・国家石油戦略備蓄の第2期工事の完成⁴と第3期備蓄事業の準備および石油製品備蓄の建設

「国民経済と社会発展の第13次5ヵ年計画(2016~2020)綱要」にはそれ以上の具体的な計画や事業は盛り込まれていないが、今年中に公表が予定されている「中国エネルギー産業第13次5ヵ年計画」や公表時期が未定の「中国石油・天然ガス産業の第13次5ヵ年計画」には、より詳細

¹ 中国能源網 http://www.cnenergy.org/yq/sy/201603/t20160311_275838.html

² 新浪網 <http://finance.sina.com.cn/money/forex/hbfx/2016-02-11/doc-ifxpmpqp7522164.shtml>

³ 中国能源網 <http://www.china5e.com/news/news-937431-1.html>

⁴ 以前の計画では2020年に第3期国家石油戦略備蓄施設を完成する予定であったが、2年遅れることになった。

2016年4月1日

な内容が盛り込まれることになり、今年の世界石油市況や中国の石油産業動向がこれら計画の内容にどのように影響するかが注目される。

(エイジウム研究所研究主幹 チュウ チョンシアン)

Asiam Research Institute <http://www.asiam.co.jp/>